

行政の窓

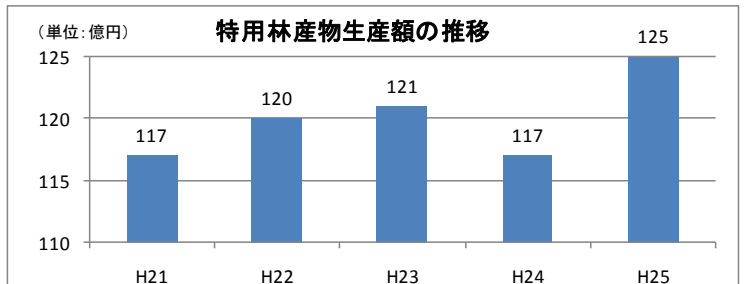


平成25年 特用林産統計について



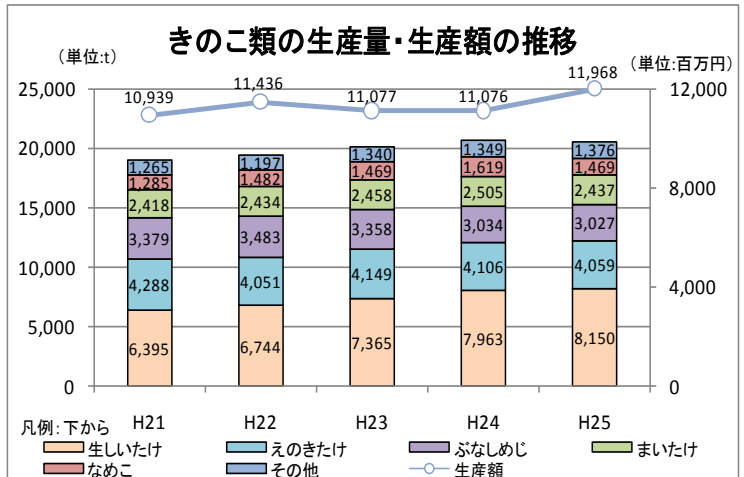
【特用林産物生産額】

道内での平成25年の特用林産物総生産額（推計）は、約125億円（対前年比107.2%）となっています。全体の96%を占めるきのこ類の単価の上昇や生しいたけの生産量の増加が主な要因となっています。

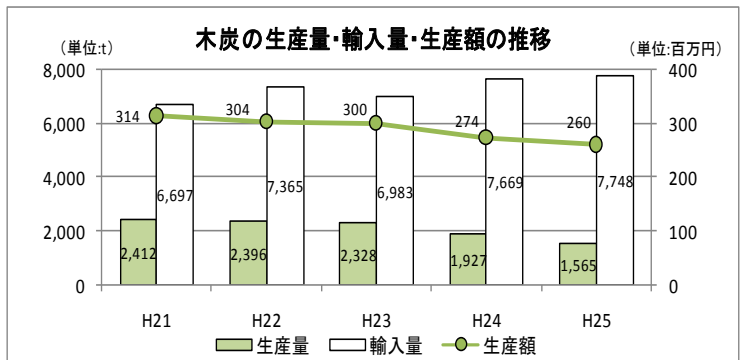


【きのこ類の生産動向】

平成25年の生産額（推計）は約120億円（対前年比108.1%）、生産量は20,518t（同99.7%）となっています。このうち、道内で最も生産者の多い「生しいたけ」は、原木、菌床あわせて生産額が約63億円（対前年比108.7%）、生産量が8,150t（同102.3%）と大きく増加しています。栽培形態では、菌床栽培の生産量が97%となっています。

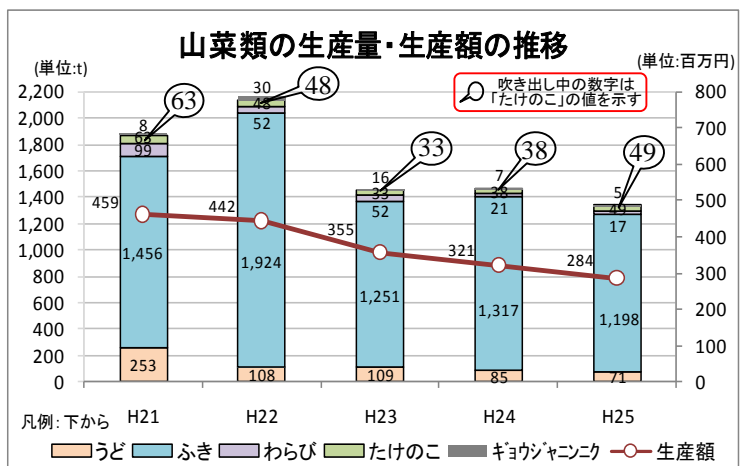


その他の主なきのこ生産量では、ぶなしめじ3,027t（対前年比99.8%）、えのきたけ4,059t（対前年比98.9%）などが減少しています。



【木炭の生産動向】

平成25年の生産額は260百万円（対前年比94.9%）、生産量は1,565t（同81.2%）となっています。また、輸入量は昨年に続き増加し7,748t（対前年比101.0%）となっています。



【主な山菜類の生産動向】

平成25年の生産額は284百万円（対前年比88.4%）、生産量は1,340t（同91.2%）となっています。道内における山菜類の生産は、天然物の採取が中心となっており、生産量の増減は、その年の天候に左右される特徴があります。

（水産林務部林務局林業木材課経営支援グループ）